

無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集(Δ05)

目 的 無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

成 果 1. 韓国との交流事業では、2011(平成23)年度に韓国国立無形遺産院(当時の韓国側の組織名は韓国国立文化財研究所)と調印した「無形文化遺産の保護に関する日韓研究交流合意書」に基づき、2016(平成28)年8月30日に国立無形遺産院(全州市)において開催された「韓日無形遺産研究交流成果発表会」に6名の研究員が参加し、2名の研究員が研究発表を行くった。また同年10月31日に、本研究交流の第3フェーズとなる「無形文化遺産の保護及び伝承に関する日韓研究交流合意書」を締結した。さらに第2フェーズ(2012～2016)の成果報告書として『日韓無形文化遺産研究Ⅱ』を2017(平成29)年3月に刊行した。



韓国国立無形遺産院との共同研究

2. 無形文化遺産分野の国際的情報収集では、当初は2016(平成28)年11月28日～12月2日にエチオピア・アディスアベバで開催された「ユネスコ無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会」に2名の研究員が参加予定であったが、現地の治安状況の悪化により渡航を中止し、ウェブキャストにより会議を傍聴した。

論 文・二神葉子：「無形文化遺産の保護に関する第11回政府間委員会における議論の概要と今後の課題」『無形文化遺産研究報告』第11号 pp.1-16 17.3

発 表・菊池理予：「無形文化遺産の保護及び伝承に関する日韓研究交流(2012～2016年)」韓日無形遺産研究交流成果発表会 国立無形遺産院 16.8.30

・久保田裕道：「今後の研究交流の方法について」韓日無形遺産研究交流成果発表会 国立無形遺産院 16.8.30

刊行物・『日韓無形文化遺産研究Ⅱ』東京文化財研究所・国立無形遺産院 17.3

研究組織 ○飯島満、久保田裕道、石村智、前原恵美、菊池理予、今石みぎわ(以上、無形文化遺産部)、二神葉子(文化財情報資料部)、松山直子(客員研究員)